

## 憲法審査会では何を議論すべきか ～「統一協会」との関係で～

2022年10月7日

飯島滋明（名古屋学院  
大学教授。憲法学）

### 問題の所在

- ①自民党が主張する改憲論が「統一協会」の影響を受けているのか（内容）
- ②自民党の改憲運動が「統一協会」の支援等を受けているのか（活動）

①の「自民党改憲論」と②の「自民党改憲運動」が統一協会の影響・支援を受けているのであれば「憲法改正」は論外。

憲法審査会を開催するのであれば改憲論議、条文案の議論に先行し、まず自民党の改憲論の内容と改憲活動が統一協会と全く関係がないのかを調査・議論すべき。

### 【1】いま憲法審査会を開く必要がない

- ① 2022年8月、コロナ禍で自殺者の増加が報告。とりわけ20代女性の自殺者の増加。
- ② 豪雨災害等で農家が大変な状況。さまざまな自然災害の復興もなされていない。
  - ・そもそも「憲法改正」のための憲法審査会の開催は必要ない（自民党の改憲の主張に関しては『週刊女性 2017年2月14日付』参照）。

### 【2】それでも憲法審査会を開催するのであれば

- (1) 国会法102条の6に基づき、自民党と統一協会の改憲論の関係の徹底解明

#### ① 改憲案の検討

たとえば「自衛隊明記の憲法改正」を安倍晋三氏が主張（2017年5月）するより前に、国際勝共連合が自衛隊明記の憲法改正を主張（2017年4月）。

市民からも統一協会と自民党改憲論の類似性に疑念（「改憲動向レポート参照」）。

たとえば自衛隊明記の憲法改正の主張について両者はどこが違うのか、自民党から説明を求める必要性。

自衛隊明記の憲法改正の主張が統一協会の影響を受けていないか、徹底的な調査が必要。1%でも影響を受けていれば、国のあり方を決めるのは「国民」という「国民主権」から正当化できない。

緊急事態条項や家族条項への影響は？

「自民党の悲願である憲法改正への動きを様々な工作で下支えし、後述する通り憲法24条の家族条項改正への働きかけを進めている」（鈴木エイト『自民党の統一教会汚染追跡3000人』（小学館、2022年）136頁。以下鈴木エイト氏著書と略記）。

## ② 自民党議員と統一協会の関係の徹底解明

反社会的勢力と関係を持った芸能人は事実上、芸能界にいられなくなる。

どんなに優れたスポーツ選手でも「ドーピング」が発覚すれば失格。政治家は？

日本の市民の生活と家庭を崩壊させてきた統一協会と濃厚接触議員に「憲法改正」を主張する資格、そもそも「国会議員」としての資格があるかを追求する必要性

統一協会が与えた被害に関しての実体験については後述【証言】参照）。

### (2) 憲法改正国民投票法（改憲手続法）での外国資本等の規制

・2016年アメリカ大統領選挙の際にもプーチン大統領はネット操作でトランプ大統領を支援した疑い。

・韓国の「カルト団体」である「統一協会」など、外国政府や外国の団体の影響を受けないようにするため、憲法改正国民投票法の改正は必須。

・「安倍は目先の国政選挙や改憲運動を進めるために、最も関係を持つてはいけなはずの相手からのアプローチを受け容れた」（鈴木エイト氏著書 24 頁）。

・「統一教会は創価学会と違い単独で複数の国会議員を擁立できるほどの票数は持っていない。参院選全国比例区での組織票は8万票ほどに留まる。統一教会が採ったのは政権による体制擁護と引き換えに人員を派遣、裏で政権を支える各種運動を行う取引だ」（鈴木エイト氏著書 27 頁）。

・「2016年1月18日,SEALS への対抗意識を露わにした保守系の学生グループ『国際勝共連合学生遊説隊 UNITE (ユナイト)』が全国各地で街頭演説を始めた (40 頁) …… 勝共職員の後ろでユナイトメンバーが広げていた横断幕にはこう書かれていた『～憲法改正支持! 安倍政権を支えよう』」（鈴木エイト氏著書 46 頁）。

「果たしてユナイトの結成とその後の一連の活動は、教団首脳との裏取引を経た官邸サイドの指示によるものだったのか。両者の密接な関連性に鑑みると、政権が直接関与した疑いは限りなく黒に近いグレーと言えるだろう」（鈴木エイト氏著書 67 頁）。

・「統一協会」の自民党支援は長い歴史。

「日本においては、保守的な政治家の選挙を手伝ったり、資金援助をしてきた。その中には中曽根元首相や金丸元自民党副総裁（故人）、高村元外務大臣を始めとする多くの国会議員がいる。彼らを支援するのは見返りを求めるためである」（全国原理運動被害者父母の会編『統一教会信者の救出 マインドコントロールの実態と救出』（れんが書房新書、2007年）39頁）。

・自民党が外国資本規制の改憲手続法改正をしなかったのは統一協会の支援を受けることを視野に入れていたから？

・「違う」と自民党が言うのであれば、外国資本規制等の改憲手続法の改正に自民党は応じるべき。

## 【証言】

### 国葬反対●駅前街宣アピール

私が統一教会に関わったのは、もう三十年も前になります。田舎から東京へ出てきた大学一年生の夏、中央線の吉祥寺駅でアンケートに答えたのが始まりでした。

いろんな大学の交流サークルと言われ、知的で優しげなお姉さん 2 人に声をかけられました。駅から歩いて 10 分ほどのマンションの 1 室でお茶やお菓子が出され、日々の出来事を話したり、生い立ちや悩みを打ち明けたりするうちに少しずつ人間関係が作られ、いつしか私にとってそのお姉さんがかけがえのない存在になっていきました。そしてサークルの合宿に誘われ参加すると、ゲームやバーベキューなどの交流のほかに、講義の時間があります。それは、キリスト教の聖書を解説した内容となっていて、驚いたことにこの現代に再臨のメシアが降臨していると聞かされます。1泊2日の 2 day セミナーから始まり、最後は韓国まで行きました。合宿の最終盤で、この人こそ再臨のメシアと文鮮明氏の顔と名前をあかされます。

先ほど弁護士の方もおっしゃっていましたが、講義の中で何度も「自分たちは生まれながら罪を持っている。その罪を清算しなければならない」と教えられ、その教えが頭に浸透していくのです。

その後私は、入信するために学生寮と偽った教団施設に入寮します。それまで住んでいたアパートの家財道具は売られ、そのお金も毎月の親からの仕送りも献金という形で通帳ごと取り上げられました。自由になるお金はなく、必要な教材費などは申請書を出してその都度いただくという形でした。教団での生活は、大学から帰ると駅前でのアンケート、休日は見知らぬ町での物売り、入浴も週 2～3 回で食事は貧しく、身も心も疲弊していきました。しばらくしてその生活に耐えられなくなり、食事当番の時に持たされるお財布から数百円盗んで駅へと走り、千葉に住む姉に電話をして助けを求めました。その日の夜、千葉に迎えに来た両親と田舎へ帰ったという感じです。

最終的に、ツライ毎日に根を上げて逃げ出し寮生活は数ヶ月で終わりましたが、教団から離れても一年くらいは洗脳が解けず、罪悪感にさいなまれる日が続きました。この場合の罪悪感とは、教団の活動をしてしまった罪悪感ではなく、自分が神様の教えに背いてしまった罪悪感になります。ようやく洗脳が溶けてきてからも、教団に連れ戻されることを恐れて大学は 2 年で退学。頭が普通に戻ってから地元の会社に就職しました。三十年が経って、教団に騙され親不孝をしてしまった自分の愚かさも踏まえた上で、今ようやく旧統一教会は、宗教でもなんでもなく悪質な詐欺団体であるということ、これだけの大きな組織に個人が対抗すること自体が難しく、教団からしたら田舎から出てきた大学生を騙すことなど赤子の手をひねるようにたやすいことだったでしょう。

要するに、このカルト団体においては政治の責任でしっかり取り締まらなくてはならず、そのために法律や制度があるのだと思います。今いる信者の多くが安倍氏のビデオメッセージを見て、どこかおかしいと思っていた教団への不信が払拭され、首相経験者と教団の繋がりが最高のアピールとなり、信仰への強い後押しになったと思います。これは取り締

まるどころか、むしろ詐欺団体の活動に大きく加担したと言わざるを得ず、旧統一教会を野放しにした政治の責任は重いです。ましてや、その教会信者たちの後ろ盾で選挙に勝っていたなどと、決して許されることではないと思います。教団との関係があった議員の方達はもっと重く受け止めなくてはいけないことだと思います。

こんなにも正しいことがまかり通らない世の中で、私達有権者がすべきことは、次の選挙までこのことを決して忘れずに選挙に臨むこと、そして、その詐欺団体に最も近かったであろう人物の国葬を何十億もの血税を使って、閣議決定で強行しようとすることに反対の意を唱えることだと思います。国民の声を無視して強行する政府に本当に悔しくてなりません、諦めたら終わり、私は声を上げます。安倍元総理の国葬に強く反対します。みんな諦めずに声を上げ続けましょう。